

令和4年第9回富山県教育委員会議事日程

8月30日（火）午後1時00分

県庁4階大会議室

1 会議録の承認について

令和4年6月27日開催の令和4年第7回富山県教育委員会会議録の承認について

令和4年7月12日開催の令和4年第8回富山県教育委員会会議録の承認について

2 議決事項

議案第20号 令和5年度富山県立学校募集定員等決定の件

(1) 陳情書により陳情者から陳述がなされた。

陳情（氷見高校の普通科定員の減について）

陳情（令和5年度県立雄山高校の募集定員について）

陳情（県立学校の募集生徒数に関する陳情～いまこそ少人数学級に踏み出す～）

(2) 県立学校課長より説明し、原案どおり可決した。

3 報告事項

(1) 第4回令和の魅力と活力ある県立学校のあり方検討委員会の開催結果について
県立学校課長より説明した。

(2) 令和4年度全国学力・学習状況調査について
小中学校課長より説明した。

4 今後の教育委員会等の日程について

議案第 20 号

令和 5 年度富山県立学校募集定員等決定の件

令和 5 年度富山県立高等学校全日制課程、定時制課程、通信制課程及び専攻科並びに
特別支援学校の募集定員等を別紙のとおり決定する。

令和 4 年 8 月 30 日 提出

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

令和 5 年度 富山県立高等学校全日課程第 1 学年募集定員

学校名	学科名	募集定員		備考	学校名	学科名	募集定員		備考		
		学級	定員				学級	定員			
入 善	普 通	4	160	自然科学コース 観光ビジネスコース	小 杉	総 合	4	160	情報コース		
	農 業	1	30		大 門	普 通	3	120			
桜 井	普 通	3	120	桶国生徒5	新 湊	普 通	3	120			
	土 木	1	40			商 業	1	40			
	生活環境	1	40		高 岡	普 通	4	160	探究科学科		
魚 津	普 通	4	160	理数科学	2	80	人文社会科学				
	機 械	1	40	高岡工芸	機 械	1		40			
	電 気	1	40		電子機械	1	40				
情報環境	1	40	電 気		1	40					
滑 川	普 通	2	80	電子機械コース 化学工業コース	建 築	1	40	土木工学コース 環境化学コース			
	農 業	1	40		土 木 環 境	1	40				
	商 業	1	40		工 芸	1	30				
	海 洋	1	40		デザイン・絵画	1	40				
	上 市	総 合	4		150	高岡商業	流通ビジネス		2	80	
雄 山	普 通	2	80	国際ビジネス	1		40				
	生活文化	1	40	会計ビジネス	1		40				
中央農業	生物生産	3	78	作物科学コース 動物科学コース 園芸福祉コース 環境緑化コース 生物工学コース 食品加工コース	情報ビジネス		1	40	中国語コース 韓国語コース ロシア語コース		
	園芸デザイン				伏 木	国際交流	3	120			
	バイオ技術					高 岡 南	普 通	4		160	人文科学コース
	八 尾					普 通	4	160		福 岡	
富 山 西		普 通	4	160	氷 見	普 通	2	80			
富 山	普 通	4	160	農 業 科 学		1	40				
	理数科学	2	80	海 洋 科 学		1	40				
	人文社会科学	2	80	ビ ジ ネ ス		1	40				
富山中中部	普 通	4	160	探究科学科	生 活 福 祉	1	40				
	理数科学	2	80		砺 波	普 通	4	160			
富山北部	普 通	3	120	体育コース約40		砺波工業	機 械	2	80		
	くすり・バイオ	2	80		電 気		1	40			
	情報デザイン	1	40		富山工業	電 子	1	40			
富山工業	機械工学	2	80	南砺福野		普 通	4	160			
	電子機械工学	1	40			国 際	1	30			
	金属工学	1	40			農 業 環 境	1	30			
	電気工学	2	80	福 祉		1	30				
	建築工学	1	40	南 砺 平		普 通	1	30			
土木工学	1	40	石 動		普 通	3	120				
富山商業	流通ビジネス	2		80	商 業	1	40	合 計	158 6,188		
	ビジネスマネジメント	1	40								
	会計ビジネス	1	40								
	情報ビジネス	2	80								
富山いずみ	総 合	4	150								
	看 護	1	40								
富 山 東	普 通	6	240	自然科学コース約40							
富 山 南	普 通	5	200	国際コース							
呉 羽	普 通	6	230	音楽コース約30							

※ 備考欄の「〇〇コース約△△」及び桜井高校普通科の「帰国生徒5」は、定員の内数である。
また、コース名のみは、2年次に開設するものである。

学科等区分別募集定員(大学科区分による)

区 分	普通	探究科学	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	総合	総計
学級数	82	6	4	6	2	26	16	3	1	1	12	159
募集定員	3,260	240	150	158	60	1,030	640	120	40	30	460	6,188

※ 氷見高校の農業科学科と海洋科学科は、農業と水産のそれぞれに1学級として集計
※ 探究科学科は、理数科学科と人文社会科学科の2学科の総称

別紙 2

令和 5 年度
富山県立高等学校定時制課程第 1 学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
新川みどり野	普 通	約 120	} 単位制
	福祉教養	約 40	
富山工業	機 械	約 40	
	電 気	約 40	
	生産機械	約 40	
雄峰	普 通	約 200	} 単位制
	総合ビジネス	約 40	
	生活文化	約 40	
志貴野	普 通	約 80	} 単位制
	国際教養	約 40	
	総合ビジネス	約 80	
	生活文化	約 40	
小矢部園芸	園 芸	約 40	単位制
となみ野	普 通	約 80	} 単位制
	総合福祉	約 40	
合 計		約 960	

令和 5 年度
富山県立高等学校通信制課程第 1 学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
雄 峰	普 通	} 約 300	} 単位制
	衛生看護		
合 計		約 300	

令和 5 年度
富山県立高等学校専攻科第 1 学年募集定員

学 校 名	学 科 名 コース・課程名	募集定員	備 考
中央農業	農 業		
	・担い手育成コース	約 10	
	・庭園コース	約 10	
富山いずみ	看 護	40	富山いずみ高校看護科卒業者を対象とする。
雄 峰	生活科学		
	・調理師養成課程	60	
小矢部園芸	園 芸	約 40	
合 計		約 160	

大学科別内訳	普 通	約 480
	国 際	約 40
	農 業	約 40
	工 業	約 120
	商 業	約 120
	家 庭	約 160

令和5年度富山県立特別支援学校高等部及び高等部専攻科第1学年募集人員(定員)

学校名	学科等	障害種別	修業年限	募集人員(定員)
富山視覚総合支援学校	普通科	視覚障害	3	約10
		病弱	3	8
	保健医療科		3	約10
	専攻科	理療科 保健医療科	視覚障害	3 3
富山聴覚総合支援学校	産業工芸科	聴覚障害	3	約10
	生活情報科			
	機械科			
	福祉・サービス科	知的障害	3	8
	専攻科	産業工芸科 生活情報科 機械科	聴覚障害	2
高岡聴覚総合支援学校	機械科	聴覚障害	3	約10
	生活情報科			
	福祉・サービス科	知的障害	3	8
にいかわ総合支援学校	産業技術科	知的障害 肢体不自由	3	約20
	生活文化科			若干名
	訪問教育			
しらとり支援学校	産業技術科	知的障害	3	約30
	生活文化科			
富山高等支援学校	生産・サービス科	知的障害	3	24
高岡支援学校	産業科	知的障害	3	約30
	生活文化科			若干名
	訪問教育			
高岡高等支援学校	生産・サービス科	知的障害	3	24
となみ総合支援学校	産業技術科	知的障害 肢体不自由	3	約20
	生活文化科			若干名
	訪問教育			
富山総合支援学校	産業工芸科	知的障害	3	8
	生活文化科			
	産業工芸科	肢体不自由	3	約10
	生活文化科			
	訪問教育			
高志支援学校	普通科	肢体不自由	3	約10
ふるさと支援学校	普通科	病弱	3	約10
	訪問教育			若干名
合 計				約280 +若干名

令和5年度富山県立特別支援学校幼稚部入学者募集人員

学校名	障害種別	学年	募集人員
富山視覚総合支援学校	視覚障害	3歳児	若干名
		4歳児	若干名
		5歳児	若干名
富山聴覚総合支援学校	聴覚障害	3歳児	若干名
		4歳児	若干名
		5歳児	若干名
高岡聴覚総合支援学校	聴覚障害	3歳児	若干名
		4歳児	若干名
		5歳児	若干名
合 計			若干名

令和5年度県立学校募集定員等の概要

I 高等学校 全日制課程

1 基本的な考え方

- (1) 1学級の生徒数は、40人を標準とする。
- (2) 募集率は、中学校・義務教育学校卒業予定者の70.8%程度とする。
- (3) 普通科割合（総合学科を除く）は、66%程度とする。

2 募集定員 34校 6,188人（前年度に比べて190人減）

3 学級増減・学科改編等

区 分		全 県	新川学区	富山学区	高岡学区	砺波学区
中卒予定者数 註) [人]		8,751	1,628	3,596	2,455	1,072
学級増減等	普通系学科	▲5	雄山 ▲1	富山▲1 富山中部▲1	高岡 ▲1 氷見 ▲1	—
	職業系学科	{ 定員+10人 }	{ 雄山(生活文化) 定員+10人 }	—	—	—
	総合学科	±0	—	—	—	—
	合 計	▲5 { 定員+10人 }	▲1 { 定員+10人 }	▲2	▲2	—
募集定員 [人]		6,188	1,140	2,538	1,750	760
募集率 [%]		70.7	70.0	70.6	71.3	70.9

註) 令和4年5月1日現在の県内中学校3年生・義務教育学校9年生の在籍者数である。

II 高等学校 定時制課程、通信制課程、専攻科

[募集定員]

- (1) 定時制課程 6校 約960人 (令和4年度と同じ)
- (2) 通信制課程 1校 約300人 (令和4年度と同じ)
- (3) 専攻科 4校 約160人 (令和4年度と同じ)

III 特別支援学校 高等部及び高等部専攻科、幼稚部

[募集人員]

- (1) 高等部 12校 約250人+若干名 (令和4年度と同じ)
- 高等部専攻科 2校 約30人 (令和4年度と同じ)
- (2) 幼稚部 3校 若干名 (令和4年度と同じ)

○令和4年度 県立高校(全日制)規模別・学区別配置状況

学級数	新川学区	富山学区	高岡学区	砺波学区
8学級		富山工業 (工8)		
7学級		富山 (普5探2)	高岡 (普5探2)	南砺福野 (普4国1農1福1)
		富山中部 (普5探2)	高岡工芸 (工7)	
6学級		富山北部 (普3工2商1)	氷見 (普3農水1商1家1)	
		富山東 (普6)		
		呉羽 (普6)		
		富山商業 (商6)		
5学級	入善 (普4農1)	富山いずみ (総4看1)	高岡商業 (商5)	
	桜井 (普3工1家1)	富山南 (普5)		
	滑川 (普2工1商1水1)			
4学級	魚津 (普4)	八尾 (普4)	小杉 (総4)	砺波工業 (工4)
	上市 (総4)	富山西 (普4)	新湊 (普3商1)	石動 (普3商1)
	雄山 (普3家1)		高岡南 (普4)	砺波 (普4)
3学級	魚津工業 (工3)	中央農業 (農3)	大門 (普3)	
			伏木 (国3)	
			福岡 (普3)	
2学級				
1学級				南砺平 (普1)

○中学校卒業予定者数と学級増減の状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	累積
下新川郡	358	336	335	323	283	323	284	268	263	273	
(前年比)	基準	▲ 22	▲ 1	▲ 12	▲ 40	40	▲ 39	▲ 16	▲ 5	10	
(対H26比)	基準	▲ 22	▲ 23	▲ 35	▲ 75	▲ 35	▲ 74	▲ 90	▲ 95	▲ 85	
学級減		0	0	0	0	0	▲ 2	0	0	0	▲ 2
黒部市	385	375	377	405	373	361	369	330	349	361	
(前年比)	基準	▲ 10	2	28	▲ 32	▲ 12	8	▲ 39	19	12	
(対H26比)	基準	▲ 10	▲ 8	20	▲ 12	▲ 24	▲ 16	▲ 55	▲ 36	▲ 24	
学級減		0	0	0	▲ 1	1	0	0	0	0	0
魚津市	376	398	400	387	382	356	366	361	312	329	
(前年比)	基準	22	2	▲ 13	▲ 5	▲ 26	10	▲ 5	▲ 49	17	
(対H26比)	基準	22	24	11	6	▲ 20	▲ 10	▲ 15	▲ 64	▲ 47	
学級減		0	0	0	▲ 1	0	0	0	▲ 1	0	▲ 2
滑川市	328	336	346	330	301	337	293	304	289	271	
(前年比)	基準	8	10	▲ 16	▲ 29	36	▲ 44	11	▲ 15	▲ 18	
(対H26比)	基準	8	18	2	▲ 27	9	▲ 35	▲ 24	▲ 39	▲ 57	
学級減		0	0	0	▲ 1	0	0	0	0	0	▲ 1
中新川郡	516	473	486	543	486	458	425	413	432	394	
(前年比)	基準	▲ 43	13	57	▲ 57	▲ 28	▲ 33	▲ 12	19	▲ 38	
(対H26比)	基準	▲ 43	▲ 30	27	▲ 30	▲ 58	▲ 91	▲ 103	▲ 84	▲ 122	
学級減		0	0	0	0	0	0	20人減	0	▲ 1 (+10人)	▲ 1 + ▲ 10人

○入学者選抜一般志願倍率 (H25～R4)

() 内は欠員数

校名	学科名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	5年平均	10年平均
入善	普通	1.06	1.05	0.90 ⁽⁸⁾	0.95	1.12	0.97	0.93	0.97	0.95 ⁽⁷⁾	0.85 ⁽¹⁵⁾	0.93	0.97
	農業	1.75	1.38	0.92	1.13	1.19	1.42	0.81	1.12	0.86 ⁽³⁾	1.30	1.09	1.16
桜井	普通	1.09	1.06	0.82 ⁽¹⁰⁾	0.88 ⁽¹⁾	1.20	1.29	1.02	0.95 ⁽⁶⁾	1.02 ⁽³⁾	0.93 ⁽³⁾	1.02	1.02
	土木	0.86	1.04	1.17	0.95 ⁽¹⁾	1.20	1.00	1.13	0.70 ⁽⁸⁾	0.43 ⁽¹⁷⁾	1.13	0.85	0.94
	生活環境	0.95	1.25	0.90	1.20	0.95	1.15	0.95 ⁽¹⁾	1.25	0.85 ⁽¹⁾	0.67 ⁽⁵⁾	0.97	1.01
魚津	普通	1.01	0.97	1.06	1.08	0.98	1.01	1.17	0.98	1.01	1.04	1.04	1.03
魚工	機械	1.44	1.15	1.23	1.20	1.00	1.44	0.98	1.10	0.75 ⁽¹⁶⁾	1.07	1.05	1.13
	電気	0.90	1.31	1.00	0.66	1.03	0.95	0.94	0.57 ⁽¹⁰⁾	0.60 ⁽¹³⁾	0.64 ⁽¹⁰⁾	0.75	0.85
	情報環境	1.48	1.39	0.89	1.34	0.94	0.78	1.17	0.81 ⁽⁴⁾	0.93 ⁽¹⁾	0.51 ⁽¹⁴⁾	0.84	1.01
	全学科合計	1.31	1.26	1.07	1.08	0.99	1.11	1.02	0.88 ⁽¹⁴⁾	0.75 ⁽³⁰⁾	0.72 ⁽²⁴⁾	0.91	1.02
滑川	普通	0.93	0.91	0.87	1.31	0.94	1.24	1.31	0.95	1.13	1.19	1.16	1.06
	薬業	1.60	1.25	1.35	1.05	1.80	2.10	0.90	1.04	0.75 ⁽⁷⁾	1.62	1.24	1.31
	商業	1.55	1.35	1.30	0.69	1.50	1.60	1.04	1.11	0.91 ⁽¹⁾	1.24	1.16	1.20
	海洋	2.20	2.45	1.70	1.80	1.74	0.86	1.50	1.85	0.87 ⁽³⁾	1.39	1.24	1.58
上市	総合	1.21	1.19	1.49	0.92	1.51	1.03	1.09	0.84 ⁽⁴⁾	1.09	0.79 ⁽¹⁴⁾	0.97	1.11
雄山	普通	0.88	1.23	1.30	0.95	1.23	0.95	0.98	0.89 ⁽¹⁾	0.99	0.85	0.93	1.02
	生活文化	1.42	1.69	0.96	1.88	1.19	1.00	1.35	1.00	1.67	0.74 ⁽⁶⁾	1.13	1.28

※網掛けは志願倍率が1倍未満を示す

○中学校卒業予定者数と学級増減の状況

年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	累積
高岡市	1,450	1,411	1,383	1,320	1,331	1,252	
(前年比)	基準	▲ 39	▲ 28	▲ 63	▲ 11	▲ 79	
(対H30比)	基準	▲ 39	▲ 67	▲ 130	▲ 119	▲ 198	
学級減		▲ 1	▲ 2	▲ 1	0	▲ 1	▲ 5
氷見市	413	408	361	362	327	323	
(前年比)	基準	▲ 5	▲ 47	▲ 1	▲ 35	▲ 4	
(対H30比)	基準	▲ 5	▲ 52	▲ 51	▲ 86	▲ 90	
学級減		0	0	0	0	▲ 1	▲ 1
射水市	932	886	869	866	865	880	
(前年比)	基準	▲ 46	▲ 17	▲ 3	▲ 1	▲ 15	
(対H30比)	基準	▲ 46	▲ 63	▲ 66	▲ 67	▲ 52	
学級減		▲ 1	1	0	0	0	0

○入学者選抜一般志願倍率 (H25~R4)

() 内は欠員数

校名	学科名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	5年平均	10年平均
小杉	総合	1.31	1.14	1.27	1.10	1.26	1.30	1.14	1.02	1.81	1.23	1.30	1.26
大門	普通	1.31	1.09	0.87	1.33	1.18	1.28	1.29	0.94	1.26	0.96	1.15	1.14
新湊	普通	1.11	0.93	1.10	1.08	1.12	1.06	1.13	1.26	1.07	0.91 (6)	1.08	1.07
	商業	1.78	1.40	0.95	1.40	1.36	1.21	1.20	1.41	1.40	1.25	1.29	1.33
高岡	普通	1.11	1.11	1.11	1.09	1.00	1.07	0.84	0.91	0.80	1.10	0.94	1.01
	理数科学・人文社会科学	0.86	0.86	1.09	1.21	1.11	1.23	1.44	1.50	1.43	1.00	1.32	1.18
	全学科合計	1.05	1.04	1.10	1.12	1.03	1.11	1.01	1.08	0.98	1.07	1.05	1.06
高工	機械	1.09	1.20	1.55	1.42	0.92	1.15	2.32	0.93	1.24	1.23	1.33	1.29
	電子機械	1.50	0.81	1.19	1.54	1.11	1.32	1.24	1.50	1.44	1.50	1.40	1.30
	電気	1.32	0.86	1.11	0.94	1.10	0.65	1.21	1.33	0.93	1.32	1.08	1.06
	建築	1.00	1.95	1.32	1.27	1.36	1.21	1.23	1.45	1.32	1.09	1.26	1.31
	土木環境	2.26	3.23	1.37	1.72	1.65	2.04	1.45	1.86	1.87	1.38	1.70	1.85
	工芸	1.75	1.56	1.56	1.88	1.44	1.00	1.44	2.44	1.00	1.13	1.40	1.52
	デザイン・絵画	1.45	1.40	1.30	1.25	0.81	1.45	1.85	1.15	1.40	0.95	1.36	1.30
	全学科合計	1.49	1.50	1.32	1.39	1.19	1.25	1.50	1.46	1.32	1.25	1.35	1.37
高商	流通ビジネス	1.50	2.00	1.45	1.70	1.23	1.45	1.38	1.25	1.25	0.95	1.26	1.41
	国際ビジネス	0.60	1.75	0.81	1.20	0.96	0.70	1.20	0.64	1.10	0.56 (7)	0.81	0.91
	会計ビジネス	1.31	1.43	1.30	1.35	1.05	0.83	1.58	0.80	1.29	0.91 (1)	1.08	1.20
	情報ビジネス	1.25	1.09	1.04	1.23	0.75	1.17	1.85	0.95	1.30	1.25	1.27	1.15
	全学科合計	1.19	1.55	1.17	1.38	0.98	1.11	1.48	0.96	1.24	0.89 (8)	1.13	1.20
伏木	国際交流	1.17	1.24	1.24	1.04	1.11	1.14	1.07	0.68	0.82	0.85 (5)	0.91	1.02
高南	普通	1.08	0.97 (3)	1.18	1.02	1.26	1.18	1.10	1.06	0.97 (3)	1.07	1.08	1.09
福岡	普通	1.09	1.16	1.10	1.14	1.44	1.00	1.27	1.03	1.03 (1)	1.33	1.13	1.15
氷見	普通	1.01	0.96	0.96	1.05	0.93	1.03	1.04	1.01	1.01	0.80 (11)	0.98	0.98
	農業科学	2.00	1.80	2.42	1.67	1.11	1.33	1.22	1.07	1.22	0.88 (1)	1.14	1.41
	海洋科学	2.50	2.09	2.14	1.18	0.87 (1)	1.92	1.40	1.14	1.07	0.81 (2)	1.25	1.46
	ビジネス	0.83	1.15	1.19	0.81	1.13	1.36	1.00	0.75 (2)	1.00	1.04	1.04	1.04
	生活福祉	1.15	1.70	1.27	1.70	0.95	0.86	1.48	0.63 (3)	1.04	1.23	1.03	1.18

※網掛けは志願倍率が1倍未満を示す

第4回令和の魅力と活力ある県立高校のあり方検討委員会の開催結果について

1 検討委員会の開催

- ・令和4年6月24日（金） 午前10時から正午まで、県民会館にて開催
- ・委員15名、講師1名出席（委員1名は、オンラインにより出席）
- ・協議冒頭に富山県立雄峰高等学校長 関口敏也氏より「定時制・通信制高校の現状と課題について」と題しての講話

2 主な意見等

(1) 定時制・通信制高校の現状と今後のあり方について

- ・働いていくためにどうしなければいけないかという力をつけていく仕組みを考えて、学校のあり方を検討していくのがいいのではないか。
- ・点数で生徒を計る以外のスケールで自分を見る、もしくは見てくれる先生や社会の関わりがあるという点では、とても大事なこれから必要な学びの場だと感じた。
- ・定時制通信制の方向や分析など、交流の機会や学びの機会もあって、一人一人の子どもにとってどういった教育がいいのかということを考えていかなければいけない。
- ・これからの時代のニーズに即した将来展望に立った定時制通信制の位置付けについては、その学校でどのような学びをするのかしっかり定めておかなければいけない。定時制通信制として、他部との違いはどこにあるのかという色付けを濃くして、具現化していくことは大切なことである。
- ・親にとっては定時制通信制の制度があるということは希望でもあり、子どもにとっては自分に合った環境で再度勉強するチャンスがもらえるということで、将来自立できる子どもに育つ環境があるということはとてもいいことだと思う。
- ・時と場所を選ばなくても学べるという環境を提供できる一つの土台とノウハウの塊だと思うので、定時制通信制の制度をもう少しいろいろな高校などに拡張することを検討していただきたい。
- ・小学校・中学校・高校という流れの他に、いつでも学び直しもできる自分に合った学びの場が保たれているということが、これからの時代においても必要なシステムなのではないかと強く感じている。
- ・スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなど、様々な形で支援をしていただき、子どもたちが生き生きとやっている。生徒が通うだけではなく、生徒会の中心になったり、部活動で成績を残したりしており、今後とも子どもたちが社会人として自立できるような部分を押さえていただきたい。
- ・多様性が求められる世の中で、今後に必要な要素が詰まっているような明るい印象を受けた。今受けたような印象を親世代に伝えていく、魅力を発信するというのはとても重要だと思っている。子どもたちの受け皿というものを知る、知らないで大きく変わってくるのではないかと考えた。

- ・高校生の今の状況と枠組みとがミスマッチしている。教育の大前提は、子どもたちが学び、社会に出て生きていくことができることにあると思う。
- ・時代とともに子ども達の環境が変わってきているので、こういう制度を持続させることが必要ではないかと思う。また、これを受け止める様々な先生が必要なので、教育者を教育する仕組みもしっかり考えていかなければいけない。
- ・広域通信制高校の話があったが、広い意味での官民連携、新しい学びの場の提供という視点で、良いものは取り入れる、協調するところは協調する、切磋琢磨するところは切磋琢磨するという事で進めていくべきではないかと思う。
- ・リカレント教育とか社会人に対するビジネススクールといった視点もこの際、教育県富山としての新しい地域成長戦略として検討することも可能ではないか。
- ・色々な事情で学校に行けない子どもは、学校に行きたいという気持ちをおそらく持っているはずなので、色々な子どもたちの所属機関を確保するのは重要で、その意味でも定時制通信制がしっかりと機能しているという、今の状況は良いことだ。
- ・定時制通信制をポジティブにとらえて、通信制というものを貪欲にプラスに捉えた学生がもっと出てくる可能性もあるので、是非リードしていただきたい。
- ・インターンシップとか地元或いは自治体、企業といった触れ合いのようなものを増やしていき、コミュニケーション能力を特に上げていただきたい。成功体験を定時制通信制の学びの中で増やしていければ、社会に出て行く時に、自分なりのやり方で社会に巣立っていけるような生徒が増えていくと思う。
- ・正規の就職をしている人はわずかだが、アルバイトをしている生徒もいる。これはインターンシップをやっているのと同じで、それが社会勉強になり、また最後どういう仕事に就いていくかということを考えるととても大事な人間形成の場であるのではないかと考えている。
- ・募集定員に対して在籍者数が少ない学科もあるわけだが、学びたい学科に生徒が入ってきているという実態を考えると、ぜひそうした受け入れは今後も続けていただきたい。
- ・定時制通信制にどういう生徒が通っているか現状がほとんど理解されてない。実態はどんどん変わってきている。実態を踏まえた上で、今の定時制通信制のようなこれまでの全日制以外の枠組みが必要である。
- ・多様性に応えるためには、通信制はまさにそうなっていると思うが、定時制においても、座学も必要ではあるが、もっとITの力を活用していくということになれば多様性に対応できない。

3 今後の予定

- ・県立高校に関するアンケート調査結果などについて議論する予定。

令和4年度全国学力・学習状況調査について

富山県教育委員会小中学校課

I 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

II 実施概況

- 実施期日 令和4年4月19日(火)
- 調査内容
 - ・ 教科に関する調査 国語、算数・数学、理科
 - ※ 令和元年度から、従来のA問題(知識・技能等)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題となっている。
 - ・ 質問紙調査 児童生徒、学校
- 実施学校数、実施児童生徒数

公立学校	小学校6年		中学校3年	
	実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
	181校	7,641人	81校	7,882人

※ 義務教育学校、特別支援学校(小・中学部)を含む。国立・私立学校は含まない。
実施児童生徒数は、国語を実施した数を記載している。

※ 用語説明

平均正答率	平均正答数を百分率で表示 <ul style="list-style-type: none">○ 国語、算数・数学、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を問題数で割った値の百分率(概数)○ 学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式、問題ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率
-------	--

Ⅲ 教科別平均正答率（文部科学省より提供）

令和4年度（悉皆調査）

※（ ）は全国平均正答率との差

学 年 教 科 区 分	小学校6年			中学校3年		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
本県平均 正答率	67% (+1)	66% (+3)	68% (+5)	70% (+1)	55% (+4)	52% (+3)
全国平均 正答率	66%	63%	63%	69%	51%	49%

※平均正答率の微少な差異は実質的な学力面の違いを示すものではないため、少数点以下を四捨五入した整数値として公表されている。

- ・ 小学校国語では全国平均正答率を1ポイント、算数では全国平均正答率を3ポイント、理科では全国平均正答率を5ポイント上回った。
- ・ 中学校国語では全国平均正答率を1ポイント、算数では全国平均正答率を4ポイント、理科では全国平均正答率を3ポイント上回った。

○市町村別のデータや問題毎の正答率をもとに、本県の課題等について分析し、今後の対策や市町村の支援に生かし、さらなる学力向上に向け取り組んでまいりたい。

Ⅳ 本県の推移

（順位については、公表不可。文部科学省提供資料をもとに県教委で加工し作成）

年度	小学校6年生						中学校3年生						
	国語		算数		理科	総合	国語		数学		理科	英語	総合
	A	B	A	B			A	B	A	B			
R4(悉皆)	7位		4位		4位	4位	5位		3位		3位		4位
R3(悉皆)	7位		3位			6位	12位		5位				6位
R1(悉皆)	5位		4位			4位	4位		2位			7位	4位
H30(悉皆)	5位	4位	4位	4位	3位	4位	4位	4位	3位	3位	3位		4位
H29(悉皆)	4位	4位	3位	9位		5位	4位	4位	3位	5位			4位
H28(悉皆)	10位	4位	4位	4位		5位	2位	2位	5位	2位			4位
H27(悉皆)	9位	4位	4位	6位	1位	5位	3位	5位	5位	5位	3位		4位
H26(悉皆)	14位	5位	5位	4位		5位	3位	3位	3位	4位			3位
H25(悉皆)	19位	10位	5位	10位		10位	3位	4位	8位	10位			5位

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業の影響を考慮し中止となった。

今後の教育委員会等の日程について

- 令和4年9月29日(木) 13:30 予定
教育委員会 (県庁4階大会議室)